資料1

平成２７年度
中小企業の振興に関する
県の施策の実施状況
（概要版）

平成２８年６月

秋田県産業労働部

内容

１　秋田県中小企業振興条例の概要　・・・・・・・・・・・・・・３

２　条例の県民等への普及・啓発　・・・・・・・・・・・・・・・４

３　主な条例関連施策の実施状況　・・・・・・・・・・・・・・・５
（１）経営基盤の強化　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・５
（２）新たな市場の開拓等　・・・・・・・・・・・・・・・・・・６
（３）企業競争力の強化　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・６
（４）新たな事業の創出　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・７
（５）地域の特性に応じた事業活動の促進　・・・・・・・・・・８
（６）人材の育成及び確保　・・・・・・・・・・・・・・・・・・８

４　支援事業を活用した企業の取組事例　・・・・・・・・・・・９

1．秋田県中小企業振興条例（平成26年4月1日施行）の概要

条例の基本理念

中小企業の役割と重要性の認識

県内企業の99.9%を占める中小企業は、本県の経済や雇用を支えるほか、地域社会の担い手としても不可欠の存在であることを認識。

中小企業の自主的な取組をオール秋田で支援

〇中小企業者は自主的に経営の改善・向上に努める。
〇中小企業の意欲的で創造的な取組を県全体で支えていく。

本県経済の持続的発展と県民生活の向上

条例に基づく ６つの基本的施策

【 基本的施策２ 】
☆新たな市場の開拓等

〇国内外における販路の開拓・取引の拡大への支援
〇県産品の県内利用の拡大促進と受注機会の拡大
〇交流の拡大による事業展開への支援

【 基本的施策３ 】
☆企業競争力の強化

〇生産性の向上支援
〇技術力の強化、製品・商品の高付加価値化への支援
〇設備投資の促進
〇企業間の連携の促進
〇産学官連携の強化

（中小企業全体にかかる共通施策）
【 基本的施策１ 】
☆経営基盤の強化

〇相 談 機 能の強化
〇資金供給の円滑化
〇事業承継の円滑化

【基本的施策４ 】
☆新たな事業の創出

〇事業の多角化・事業の転換への支援
〇創業の促進

【 基本的施策６ 】
☆人材の育成及び確保

〇学校教育における職業及び勤労に関する教育の充実
〇職業能力の開発・向上への支援
〇雇用に関する情報提供
〇雇用環境の整備の促進
〇女性と高齢者の能力の活用の促進

【 基本的施策５ 】
☆地域の特性に応じた事業活動の促進

〇地域資源を活用した商品の開発支援
〇技術の継承への支援
〇商店街の活性化支援
〇農商工連携等の促進

中小企業の自立・創造に向けた取組を徹底支援

２　条例等の普及・啓発

(1)各種媒体広報媒体を活用したＰＲ

○全戸配布広報紙「あきたびじょん」（２０１５年１１月号）において、中小企業支援施策を活用した県内企業による取組をＰＲしたほか、パンフレットを増刷し、商工団体等を通じて各中小企業・小規模事業者に配布。

○県の支援施策を活用し、成果を上げている中小企業等の取組を取りまとめた「支援施策活用事例集」を作成し、商工団体等を通じて各中小企業・小規模事業者に配布したほか、ホームページへ掲載し、ＰＲを実施。

(2)中小企業月間でのＰＲ

○７月下旬からの約１か月間を「中小企業月間」と定め、「拓け！秋田の中小企業の可能性」をテーマとして、中小企業応援フェスタ(エリアなかいち)など延べ９件の普及・啓発イベントを実施。

【中小企業月間普及啓発イベント参加・来場者数：約６，７５０人】

県南地区中小企業支援フェア（横手市）の様子

中小企業応援フェスタ（エリアなかいち）の様子

(3)中小企業振興コーディネーターの企業訪問

○平成２６年９月から平成２７年８月にわたって、中小企業振興コーディネーター４名を配置し、延べ１，５７７社（うち平成２７年４月～８月：７６５社）を訪問して条例及び支援施策をＰＲした。

３　主な条例関連施策の実施状況

(１)経営基盤の強化

［専門家派遣］（支援事業名：商工団体組織活動強化事業）

○中小企業支援機関（商工団体、(公財)あきた企業活性化センター等）と連携した専門家派遣を実施し、中小企業が抱える課題の解決や経営支援等を実施。

【専門家派遣実績：２，２２８件（Ｈ２６年度１，２６６件）】
※ミラサポ事業・信用保証協会実施分含む。

［技術支援］（支援事業名：技術支援加速化事業）

○産業技術センターの研究員が企業を訪問し、企業が抱える課題や強みを見いだし、課題解決や商品開発につながる技術支援を実施。

【共同研究・受託研究締結件数：７２件（Ｈ２６年度６３件）】

産業技術センターの技術支援により開発した携帯型水素水生成器
((株)八森電子デバイス(八峰町))

［事業承継］（支援事業名：【拡】事業承継推進事業）

○秋田商工会議所・県商工会連合会に事業承継相談推進員を配置(５人)し、事業承継案件の掘り起こしを行うとともに、事業引継ぎ支援センターとも連携したきめ細かな相談対応を実施。
○後継者人材バンクへの支援を通じて後継者不在企業と起業家とのマッチングを促進。
○後継者育成塾を県内３地区で開催し、事業承継の円滑化に向けた支援を実施。

【事業承継相談推進員の相談受付件数：２５２件（Ｈ２６年度３０３件）】
【後継者人材バンク登録状況：後継希望者 ５１人、後継者不在企業 ２４社】
【後継者育成塾(３地区 各５日間開催)：受講者 北秋田市２０人、秋田市１７人、横手市３２人　（計６９人）
（計画数：６０人）】

後継者育成塾の様子

３　主な条例関連施策の実施状況

(2)新たな市場の開拓等

［海外への販路開拓］（支援事業名：県内企業海外展開支援事業）

○海外展示会や商談会への出展のほか、海外への新たな活動拠点の開設等に係る支援を通じて、県内企業の海外展開を促進。

【海外展示会等への出展や現地の市場調査等への支援：採択１２件（Ｈ２６年度１０件）】
【海外への新たな活動拠点の開設支援：採択２件（インドネシア、中国）（Ｈ２６年度３件）】

［県産品の販路開拓］（支援事業名：【新】県産品販路拡大対策事業）

○県産品の販路の拡大を図るため、消費者ニーズを反映させた商品開発を進めるとともに、首都圏等でのプロモーション活動を展開。

【首都圏での商談会の開催（Ｈ２８年１月１４～１５日、秋葉原UDX）：参加８５事業者、来場バイヤー４７３人】
【納豆フェスタの開催（Ｈ２７年１１月１４～１５日、代々木公園）：来場者数約４０,０００人】

東京・秋葉原で開催した「秋田のおいしい食材商談会」

(3)企業競争力の強化

［がんばる中小企業の支援］（支援事業名：がんばる中小企業応援事業）

○新製品や新サービスの開発・生産等の意欲的な取組を行う企業に対して、機械器具の導入や人材育成経費等をハード・ソフト両面から支援。

【認定件数：４１件（製造業３３件、非製造業８件）（Ｈ２６年度４６件）】

開発した教員用「指導要録作成システム」
（(株)フォラックス教育（湯沢市））

３　主な条例関連施策の実施状況

［成長分野への事業展開支援］（支援事業名：【新】航空機産業強化支援事業）

○航空機産業への参入を促進するため、国際的認証制度の取得など技術水準の向上や販路拡大、人材育成等に取り組む県内企業を支援。

【認証の取得支援：４件（Ｎａｄｃａｐ：１件、ＪＩＳＱ９１００：３件）】
【中核技術者育成セミナーの開催：受講者数１１人（１２月と２月に開催）】
【高校生を対象とした特別講義・メーカー見学会の開催：参加者３０人】

航空機ランディングギア部品の研磨工程

(4)新たな事業の創出

［起業の促進］（支援事業名：【拡】あきた起業促進事業）

○県内での起業を促進するため、商工団体等と協力し、起業家意識の醸成、起業準備、起業、起業初期の各段階を貫いた切れ目のない支援を実施。

【大学生への起業に関する特別講演の実施：参加者３９８人（県立大、秋田大、ノースアジア大、公立美大）（Ｈ２６年度 ９１人）】
【起業スキル習得塾の開催：県内１１回、県外１回（東京）、参加者２１８人（Ｈ２６年度 県内１０回、県外１回、参加者１９３人）】
【初期投資等の支援（起業支援補助金）：採択１３件（うちＡターン・移住枠５件）（Ｈ２６年度 １１件）】

県内大学での起業に関する特別講演

［経営革新］（支援事業名：【拡】あきた企業応援ファンド）

○地域資源を活用した新商品開発や販路開拓等の経営革新の取組を支援。
【Ｈ２７年度採択件数：３５件（Ｈ２６年度 ３３件）】

３　主な条例関連施策の実施状況

(５)地域の特性に応じた事業活動の促進

セミナー講師によるお店づくり指導

［商業・サービス業の活性化］（支援事業名：先駆的商業活性化サポート事業）

○先駆的な活動をしている商業者のネットワーク化と相互交流等を促進。

【魅力ある個店づくりとネットワークづくりセミナーの開催：参加者３０人】

［地域資源等を活用した地域産業の振興］（支援事業名：提案型地域産業パワーアップ事業）

○市町村等による地域資源を生かした新たな地域産業創出等の取組を支援。

【新規採択：３件（三種町「ジュンサイ」、湯沢市「稲庭うどんと川連漆器」、
美郷町「ラベンダー酵母」）、 Ｈ２６年度から継続：大仙市「花火産業創出」】

(６)人材の育成及び確保

［学生等と企業とのマッチング］（支援事業名：【拡】秋田を支える人材確保支援事業）

○学生・Aターン希望者と企業とのマッチング機会を提供する就職面接会等を開催。

【新規大卒者等を対象とした就職面接会等の開催】

・合同就職説明会：[Ｈ２８卒向け]３回（秋田、東京、仙台）参加学生延べ５７０人、参加延べ２５６社
[Ｈ２９卒向け]１回（秋田）参加学生５０９人、参加１５６社

・合同就職面接会：２回 （県内）参加学生延べ２６８人、参加延べ１９２社
（Ｈ２６年度　２回、６２９人、２３０社）

【Ａターン就職面接会：２回（東京）来場延べ１０６人、参加延べ７３社
（Ｈ２６年度　２回、９０人、６３社）】

【Ａターン就職者数：1,０８０人（Ｈ２６年度1,０６１人）】

４　支援事業を活用した企業の取組事例

（１）大同衣料(株)（大仙市）衣服製造業【活用事業：商工団体組織活動強化事業(専門家相談事業)】

①活用のきっかけ　→　下請け依存体質から自ら作り売る「製販一体型事業」に転換するため。

②活用のポイント　→
- 専門家のアドバイスのもと、現状分析・把握と経営戦略を策定。
- 自社製品のブランディングとマーケティングの強化。

③活用の成果　→　専用ホームページや全国初のオーダーメイドスーツ移動販売車（テーラーメイドカー）の活用などにより、営業販売活動が強化された。

④今後の取組　→　年間３，０００万円の売上高達成を目指し、メイドイン秋田にこだわったブランド展開を図っていく。

専門家との打ち合わせの様子

テーラーメイドカー

（２）(株)かねひろ（秋田市）包装資材卸売業【活用事業：がんばる中小企業応援事業】

①活用のきっかけ　→　商品の企画開発から販路支援までを手掛ける企業を目指すため。

②活用のポイント　→
- 様々な素材に印刷できるＵＶプリンターを導入。
- ＵＶプリンターを活用した商品のブランディング化。

③活用の成果　→　新たに５社と取引を開始したほか、約２０社と新規取引に向けた商談を開始。

④今後の取組　→　様々なパッケージの試作品紹介やデモンストレーションを重ね、新たな顧客獲得につなげていく。

UVプリンターで制作したパッケージ

展示会での商品PR

４　支援事業を活用した企業の取組事例

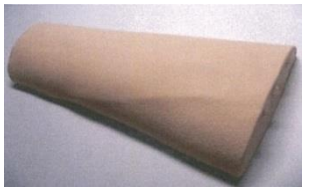
(３)(株)レジーナ（美郷町）その他製造業【活用事業：ものづくり中核企業創出促進事業】

①活用のきっかけ　→　自社のエラストマー（ゴム）製品を医療分野に応用したいと考えていたため。

②活用のポイント　→
- エラストマー製造技術を活用し、注射やガン組織の触診などの練習教材を開発。
- 医療技術レベルを公平かつ定量的に評価するため、透明な素材により開発。

③活用の成果　→　「安全にトレーニング回数を増やすことができるようになった」「練習が簡便にできるようになった」など、医療関係者から高評価を得ている。

④今後の取組　→　医療系教育機関や医療機器ディーラー等への販路拡大と新たなモデル開発に取り組む。



注射練習用教材

がん組織の触診用教材

(４)ＳＯＵＰＨＯＬＩＣ（秋田市）飲食業【活用事業：あきた起業促進事業】

スープホリック

①活用のきっかけ　→　飲食店の独立開業に向けて、起業に関する知識を身につけるため。

②活用のポイント　→　専門家のアドバイスを受けながら、事業計画の策定や資金調達など起業に係る知識やスキルを習得。

③活用の成果　→
- 事業内容が高く評価され、開業にあたり事業資金を低利で調達。
- あきたビジネスプランコンテスト２０１４で優秀賞を受賞。

④今後の取組　→　新たなメニューづくりやテイクアウト事業に取り組み、新たな顧客の獲得につなげる。

提供スープ

４　支援事業を活用した企業の取組事例

(５)和装はきもの小物 加藤（大仙市）　日用雑貨・うつわ・家具ｍｉＮｃａ（大仙市）平山はかり店（能代市）　今井糀屋（能代市）　山三園（秋田市）

【活用事業：先駆的商業者活性化サポート事業】

①活用のきっかけ　→　商業者ネットワークづくりフォーラムをきっかけに、地域を越えた商店の連携を深めるため。

②活用のポイント　→　「ヤートセ秋田祭（秋田市）」時に、県北・県南の個店４店がテント市「△三えんにち」を開催。オリジナル商品の販売を通じて、各個店の魅力や商品をアピールした。

③活用の成果　→　テント市終了後、来店者が各個店を直接訪問して商品を購入するなど、地域を越えて個店のファンづくりにつながった。

④今後の取組　→　県内の個店同士の地域を越えた交流を深め、新たな顧客獲得につなげていく。

テント市「△三えんにち」

各個店がオリジナル商品をアピール

(６)(株)高瀬電設（湯沢市）金属製品製造業【活用事業：生産性向上支援事業】

①活用のきっかけ　→　東日本大震災による創業以来最大の危機を乗り越えるため、無駄の多かった生産方式の見直しを図る。

②活用のポイント　→　トヨタ自動車ＯＢである生産改善アドバイザーの指導のもと、工程の見直しを図るとともに、モノの流れ、小ロット生産を徹底。

③活用の成果　→　生産工程の改善により、生産リードタイムが１０．４日短縮。

④今後の取組　→　“細くて速い流れ”の生産ラインを目指し、塗装工場の改善を進め、板金工場とのつながりをつくる。

改善指導の様子